

第19回関西高校模擬国連大会開催実施要項

1. 模擬国連について

模擬国連は、参加者が実際の国際会議のシミュレーション（模擬）を行うことにより、国連や国際政治のシステムについて、また国際問題や国家の対外政策決定力がいかに働くかを学習する目的で実施されます。模擬国連は、通常、国連の総会、各委員会、安全保障理事会の諸活動をシミュレーションします。参加する生徒は国連加盟国代表の役を演じ、国連の議題から協議事項を選び、討論します。実際に行われる国連の議事進行手続きに則り、それぞれの代表が担当する国の利益を守りながら世界の諸問題解決の交渉を行います。模擬国連の準備作業を行いながら、参加者は国際問題や国際組織の複雑さをよりよく理解できるだけでなく、国連に関する知識も獲得できます。この模擬国連で、代表する国の立場や政策目標を設定できるようになるには、参加者が代表を務める国の歴史、文化、外交政策を調査研究しなければなりません。会議のために準備をし、また参加することで、討論の方法や交渉技術、非公式協議の仕方やコンセンサスの作り方、説得力のある文章の書き方、あるいは公の場での発表方法を学ぶことができます。

この関西高校模擬国連は、世界中で毎年開催される150に余る模擬国連会議の一つであり、世界中では6万人を超える中学生、高校生、大学生が参加しています。

2. 関西高校模擬国連大会

- ①主 催 関西高校模擬国連大会実行委員会
委員長 … 北村 聡
京都外大西高等学校校長
副委員長 … アンガス・マグレガー
京都外大西高等学校国際文化コース・コーディネーター
委 員 … 参加校引率教員
- ②協 賛 財団法人 国立 京都国際会館
- ③後 援 日本国際連合協会京都本部、大阪・神戸 米国総領事館、
大阪・神戸 米国総領事館 関西アメリカンセンター、
京都府教育委員会、京都市教育委員会、
京都新聞社、学校法人京都外国語大学
- ④開 会 式 来 賓 日本国際連合協会京都本部本部長 大谷 光真 氏
大阪・神戸米国総領事館総領事 Edward Dong 氏
外務省関西担当特命全権大使 原 聰 氏
- ⑤開 催 日 平成21年6月24日（水）～26日（金）
- ⑥会 場 国立 京都国際会館
[住所]京都市左京区宝ヶ池
[Tel] 075-705-1234（代表）

⑦参加生徒数 約180名(予定)

⑧使用言語 英語

⑨参加予定校 公募

岡山学芸館高等学校, 大阪YMCA国際専門学校, 関西外語専門学校,
関西創価高等学校, 京都外大西高等学校, 京都産業大学附属高等学校,
千里国際学園高等部, 西大和学園高等学校, 立命館高等学校,
立命館宇治高等学校

⑩議 題 『気候変動が貧困に及ぼす影響』

○トピック1: 生物燃料と食糧安全保障

○トピック2: CO2排出に対する責任

気候は変化し続け、それは世界のいたるところに大きな影響を与えています。気候変動の原因に関する議論はたくさんありますが、それが開発途上国の貧困にどれほどの影響を与えているか、という議論は少ないのです。貧困層には、洪水や干ばつ、厳しい気象、凶作などの出来事に対処するために必要な資源がしばしば備わっていないので、より大きな被害をもたらすことがあります。

ミレニアム開発目標の中で概説されているように、気候変動は貧困に負の影響を及ぼし、それを根絶する過程をさらに遅くしています。気候変動は、開発途上の世界に、いろいろな方面で影響を及ぼし得るのです。例えば、農業資源や天然資源の減少、経済成長への負の効果、突然おこる所得や財産の喪失、健康問題と疾病の増加といったことです。

気候変動は現実的で、全世界に影響を及ぼします。関西高校模擬国連大会では、国際社会が貧困への影響を減らし、なおかつ開発途上国がその脆さを克服する方法を見つけることに焦点をあてて、議論されるでしょう。

⑪時 程 第1～第6セッションはすべて国際連合総会として行います。

○6月24日(水)	○6月25日(木)	○6月26日(金)
9:00-10:00 地域ブロック会議	9:00-10:00 地域ブロック会議	9:00-10:00 地域ブロック会議
10:00-10:45 開会式	10:00-12:00 第3セッション	10:00-12:00 第5セッション
11:00-12:00 第1セッション	12:00-13:00 昼食	12:00-13:00 昼食
12:00-13:00 昼食	13:00-13:30 地域ブロック会議	13:00-13:30 地域ブロック会議
13:00-13:30 地域ブロック会議	13:30-16:30 第4セッション	13:30-16:30 第6セッション
13:30-16:30 第2セッション	17:00-18:30 参加者懇親会	16:30-17:00 閉会式
16:30-17:00 引率教員会議		

⑫連絡先 京都外大西高等学校国際文化コース内
関西高校模擬国連大会事務局 久保井 一憲
[住所]京都市右京区山ノ内苗町37
[Tel]075-321-0712
[Fax]075-322-7733

⑬その他 関西高校模擬国連大会ホームページ
[URL]http://homepage.mac.com/angus64/KHSMUN/

第 19 回関西高校模擬国連大会の報告

第 19 回関西高校模擬国連大会が、6 月 24 日（水）～26 日（金）に、国立京都国際会館で開催されました。10 校から約 180 名の高校生らが参加し、国際連合総会としての 2 つのコミッションに分かれ、それぞれのコミッションで 43 カ国の国連代表に扮して、「気候変動が貧困に及ぼす影響」について討議しました。今年は、立命館高等学校（京都）と西大和学園高等学校（奈良）の皆様を、新しくお迎えしました。会議は、京都外大西高等学校の生徒と教員が主導して行われ、概ね成功をおさめることができました。

開会式は、京都外国語大学国際交流部長熊谷俊樹氏、国立京都国際会館館長天江喜七郎氏、千里国際学園教頭井藤眞由美氏のご臨席の下、関西高校模擬国連大会実行委員長北村聡氏（京都外大西高等学校校長）の挨拶から始まり、滞りなく行われました。京都外大西高等学校の担当教員も臨席いたしました。また、ご来賓としては、日本国際連合協会京都本部本部長大谷光真氏、大阪－神戸アメリカ総領事館総領事エドワード・ドン氏、外務省特命全権大使関西担当原聰氏にご出席いただき、それぞれスピーチをいただきました。なお、25 日（木）に開かれた参加者懇親会では、賀茂別雷神社権禰宜乾光孝氏が、国際神道機構ニューヨークセンター主任として国際連合本部で働いておられた経験を、生徒たちに話して下さいました。

気候変動についての議題は、自然現象に関する専門的な話題が多く、教員や生徒にとっても大変難しいものでした。ここ数年、関西高校模擬国連大会の議題は人権問題、特に子どもの人権問題に焦点を当ててきましたが、今回は、何か新しい試みを行いたいという考えもあって、普段ニュースでよく見かける時事的な話題について議論することにしました。「気候変動」は難しい話題でしたが、生徒や教員の多くが、大変刺激的で興味深いものであると再確認することができました。セッションでは、特に、「バイオ燃料と食糧安全保障」・「CO2 排出に対する責任」という 2 つの副題に絞って、集中的に討議しました。生徒たちは、6 つのセッションを通して、自分が割り当てられた国の視点から、スピーチを準備し、議題についてディベートし、決議案を作成しました。また、地域ブロック会議でも、方針や地域としての意見をまとめるために話し合いました。

最終的に、生徒たちは、各コミッションで 4 つの決議案を作成しました。決議案は地域ブロックで準備され、各コミッションに紹介されました。決議案が可決されるためには、3 分の 2 以上の賛成票が必要です。修正点について十分議論した結果、コミッション A では 1 つの、コミッション B では 2 つの決議案が可決されました。

※コミッションAでは、「ヨーロッパおよびその他の地域」ブロックから、CO₂の削減量の分配に関する決議案が提出されました。決議案の主旨は以下の通りです。

- 2012年までに、国際的な炭素分配システムをつくるために、国連環境プログラムが環境問題の専門家たちを会議に招く。
- 先進国が、インドと中国を助けるために、排出された二酸化炭素からの炭素獲得・蓄積の方法を研究する。
- 先進国が、発展途上国の炭素クレジット取得のための技術を分かち合うことを奨励する。
- アメリカ合衆国が、京都議定書やポスト京都議定書を批准するように強く求める。

※コミッションBでは、「アジア地域」ブロックによって、二酸化炭素排出量削減についての決議案が提出されました。決議案の主旨は以下の通りです。

- すべての国が京都議定書を批准することを求める。
- G20のすべての国が、2020年までにガソリン車の20%をエコカーに変更することを推奨する。
- すべての国が、2035年までにカーボンニュートラルの製品が使用できるように開発を進めることを推奨する。
- すべての国が、二酸化炭素排出量を削減するための炭素分配システムを開発することを奨励する。

これらの決議案を採択し、本会は無事閉会することができました。閉会式では、関西高校模擬国連大会複実行委員長のアンガス・マグレガー教諭（京都外大西高等学校）より、生徒代表に「修了証」が授与されました。

このように、3日間の大会は今年も大きな成功をおさめたと言えます。議長や秘書官、地域ブロックリーダーの生徒たち（いずれも京都外大西高等学校国際文化コース）も、模擬国連運営上の様々な決まりごとを崩すことなく、3日間しっかりと会議を主導できました。その他の参加者も、大会の中でみんなが成長することができました。これもひとえに、関係者が皆様が、貴重な時間と労力を模擬国連の成功のために費やして下さった成果であり、運営する立場の者といたしましては感謝にたえません。ありがとうございました。